



専門職による
リレーコラム

さくら＊スマイルゼミ

ちょっといいかい(医～介)

早めに始める人生会議(ACP)

皆さん、人生会議(ACP)はご存じでしょうか? 将来の医療やケアについて、本人が望む生き方や治療方針を前もって考え、家族や関係者と共有しておく取り組みの事です。人生の最終段階において、本人の意思が尊重された医療・ケアを受けるため、非常に重要とされています。

実際にどんな話をするの?と疑問に思う方もいらっしゃると思います。難しく考えなくて大丈夫です。「どこで過ごしたいか」まずは、身近な方へお話ししてください。

それから、病気や体の状態に応じて「どのような治療を望むのか」少し難しい事は、かかりつけの病院やケアマネージャー、地域包括支援センターといった専門の方へ相談してみましょう。もし気が変わったら、納得できるまで話し合ってみてください。必ず力になってくれるはずですよ。

「私はまだ大丈夫」そんなことはありません。いざ、病気・怪我をしたときに、きちんと自分の意思を伝えられるとは限りません。特に、延命治療に関しては体への負担が多いです。本人と相談ができていない家族が「すごく辛そうで、やめておけばよかった」という場面に、何度も遭遇しています。最期を迎えるにあたり、後悔が全くないという人は少ないと思います。それでも、最期まで自分らしい生き方ができるよう、早めに人生会議を始めてみませんか?



早めに始めてみませんか

執筆

だるま訪問看護リハビリ
ステーション 阿久津 颯太



問合せ先…高齢課 (☎681-1155)

発信! 前進! 地域おこし協力隊通信

地域おこし協力隊の活動を発信していくコーナー

vol.12 着任して1年になりました

こんにちは!さくら市に移住してから、ちょうど1年が経ちました。現在はトマト農家さんのもとで研修をしながら、協力隊でお借りしている畑で野菜づくりに取り組んでいます。

畑では、竹など自然のものを使って支柱やトンネルを作ったり、野菜の空中栽培に挑戦したりと、いろいろな工夫をしながら作業をしています。じゃがいもを「さくら＊」の文字の形に植えるなど、来てくれた方が見て楽しい、歩いて楽しい畑づくりを目指して頑張っています。

今後は、協力隊の畑で収穫できる野菜を使った収穫体験などのイベントも計画中です。

さくら市地域おこし協力隊のSNSなどで発信していきますので、ぜひチェックしてみてください!

研修&実践の日々です!



今月の担当

釜口 隊員



じゃがいもを「さくら＊」の形に植えた写真です